

一 般 質 問

平成30年12月6日（木）

19番 伊藤 一治 議員

1. 石狩市におけるエネルギー施策について

- ①厚田地区におけるマイクログリッドの形成を通じた再生可能エネルギーの地産地消による新たな電力供給モデル構築について
- ②地産エネルギー活用マスタープランの策定状況について

2. 災害対策について

- ①台風による暴風雨、地震による停電等の災害対応の総括について

3. 道の駅の諸課題について

- ①品数不足・購買金額の低迷解消に向けて
- ②国道の渋滞解消に向けた協議について
- ③サイクルツーリズムの推進とサイクリングロードの整備について

4. 地場企業等、活性化に向けた施策について

- ①バイ（買う）いしかり運動の展開について
- ②地方消費税収入維持・確保に向けた消費拡大運動の展開について
- ③行政機関関係者の地元消費拡大への取り組みについて

5. 閉校小学校の跡施設の活用について

- ①文科省の「みんなの廃校プロジェクト」の概要と、閉校跡施設の活用について

6. 特定環境保全公共下水道事業の今後について

- ①旧石狩市域における公共下水道事業と厚田区の特環事業における会計の適用状況について
- ②特環事業の今後の取り組みについて

7. 本市の財政状況の見通しについて

- ①健全化判断比率の分析と今後の財政運営の見通しについて

11番 和田 川真義 議員

1. 地方自治について

- ①市長は長年首長として地方自治の先頭に立って行政を進めてきました。
現在、国と地方の関係で多くの課題がありますが、認識とあるべき姿についてお尋ねします。

2. 子ども政策について

- ①市長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正以前に、子ども室を設置するなどの子ども政策を最重点課題として取り組んでこられました。石狩の子どもたちへの思いと今後の取り組みについてお尋ねします。
- ②総合教育会議の設置により市と教育委員会と連携が、よりスムーズになったと思われていますが、連携による成果と今後の展望についてお尋ねします。

3. 自然について

- ①海浜植物、海岸線、防風林など石狩には多くの貴重な自然が残されています。しっかりと後世に伝えるべきと考えますが、市長の自然への思いと将来のあるべき姿についてお尋ねします。
- ②石狩浜海浜植物保護センターは開設20年を迎えます。この間多くの実績を残してきましたが、地球温暖化を警鐘するなどの新たな取り組みが必要と考えます。これまでの課題と今後の取り組みについてお尋ねします。
- ③ビジターセンターは180種以上の貴重な植物が生息するはまなすの丘公園に隣接し、訪れる人々に憩いの場を提供してきましたが、一歩進めて本来のセンターの役割を加えるべきと考えます。お考えをお示し下さい。
また、海浜植物保護センターとの役割の関係についても伺います。

4. 文書館について

- ①望来小学校の閉校などが予定され、大切な公文書の保存がますます重要な課題となっています。これまで様々な取り組みをしてきましたが、今後どの様に進めていくのか、更には開示もできる文書館もしくは同機能を有する施設が必要と考えますがお考えをお示し下さい。

5. 手話条例について

- ①市町村初の手話条例を制定し全国の先頭に立って進めてきましたが、これまでの成果と今後の取り組みについて伺います。
- ②小学校の学芸発表会などでも積極的に取り入れ、市民にも浸透してきましたが取り組みの現状と更に進めるための取り組みについて伺います。

6. 過疎地対策について

- ①市内には点在する地区で、多くの市民が地域の資源財産を大切にしながら生活しているが高齢化や後継者の問題が深刻化している。
冬期間の安全への懸念もあり今後どの様に政策を進めていくのか伺います。

7. 「ふるさといしかり」について

- ①平成29年第4回定例会で全市を網羅した「ふるさといしかり」について質問し、刊行の時期を検討するとの答弁をいただきましたが、その後の進捗状況についてお尋ねします。

1. 防災・減災について

- ①災害時に要支援者を的確に支援するために
 - イ. 平常時の要支援者に対する支援会議の必要性とその取り組みを広く周知すること
 - ロ. 要支援者にとって的確な支援が出来るよう、各関係機関の協力を得て、指導・教育の場を持つこと
- ②子供防災手帳の作成について
- ③自動消火装置、感震ブレーカー設置費用の助成について
- ④福祉避難所について
 - イ. 利用者把握と福祉避難所との結びつけについて
 - ロ. 提携拡大について
 - ハ. 周知について
- ⑤ペットとの同行避難と、普段からの準備の必要性についての周知を
- ⑥防災機能を備えた公園の拡充を

2. みどりのリサイクルの収集について

- ①拠点収集から個別収集に変更し、緑のごみを更にリサイクルに活用し、ゴミの減量につなげる
ことについて

3. 終活事業の導入について

- ①終活支援事業について
- ②終活情報の登録と伝達事業について

4. eラーニングシステムの活用を

- ①子供たちに更なる学習機会の提供を

1. ゾーニング事業について

- ①検討委員会においての各部の進捗状況を伺います
 - イ. 動植物の検討部会では
 - ロ. 事業性の検討部会では
 - ハ. 景観・まちづくり・騒音等の検討部会では
- ②健康被害はどのように扱われたか

2. 再生可能エネルギーについて

- ①小型風力発電の設置条件と住民への説明会について把握しているか
- ②ソーラーパネル設置条件と住民への説明会について把握しているか

3. 高齢者福祉について

- ①消融雪機器設置費補助を復活させ実施できないか伺います

4. 福祉灯油のさらなる拡充について

- ①石狩管内・北海道の市町村と比較し、さらなる拡充の検討を求めます

13番 佐々木 大介 議員

1. 入札契約制度について

- ①工事委託業務において低価格入札が生じている要因について
- ②花川通道路実施設計において、道路構造の一部が当初の法面から擁壁へと変更が必要になった理由と、追加発注となった花川通調査設計業務委託が見積り合わせとなった理由について
- ③第1本沢橋補修調査設計業務、厚田四号橋外補修調査設計業務において、当初の橋梁補修から架換へと設計変更が生じた理由について
- ④(仮称)厚田小中学校建設工事基本・実施設計業務における新校舎建築のコンセプトと公募型競争入札を選定した理由について
- ⑤工事関係委託における最低制限価格の導入について、導入後の入札状況をどのように評価されているか

2. 指定管理者制度について

- ①指定管理施設で実施している利用者アンケート調査は、各施設どのような方法で実施し、どの程度の回収があるか
- ②利用者アンケート調査の結果をどのように評価しているか。また、結果はどのようにサービス向上に役立てられているか

3. 地域自治について

- ①地域自治システムの検討事業として実施している「わかば地区地域会議」のモデル事業の検証状況と今後の展開について
- ②地域の情報発信、コミュニティスペース、防災拠点等の役割を踏まえ、地域とともに今後の町内会館のあり方について協議、検討を行っていく考えはないか

4. 海水浴場について

- ①海水浴場の入込客数の減少について、その要因をどのように分析されているか
- ②海水浴場の運営に対する今後の対応について

5. 国際交流事業について

- ①国際交流事業の主体者となっているNPO法人石狩国際交流協会の収支、運営状況に対する認識について
- ②高校生交換留学生事業において、市内のホストファミリーが減少し、ホームステイの受入れに

苦慮している状況にある。このことについて、市として協力、支援を行う考えはないか

6. 花川北11線通について

- ①花川北11線通の紅葉山茨戸通から南花畔通間の道路整備完了時期と南花畔通との接続部分にある橋梁部の改修後の道路構造について
- ②整備完了後の花川中学校通学路としての利用について
- ③花川北11線通の南花畔通交差点部及び道道石狩手稲線間の安全対策について

7. 市誌資料叢書^{そう}発刊事業について

- ①進捗状況と今後の発刊予定について